

学修成果の自己評価のためのルーブリック

大項目	小項目	A. 目標以上	B. 目標達成	C. あと少し	D. 努力が必要
幼児教育者観	子ども理解と自覚・責任	子どもに関して深く理解し、保育者としての自覚と責任感を持っている	子どもに関して理解し、保育者としての責任感を持っている	子どもに関する理解や、保育者としての責任感は学習したが、不十分である	保育者としての子どもに対する理解や責任感がない
知識・技能	専門的な（保育内容、子ども理解、現代的保育課題等）知識	保育者として専門的な知識を持ち、子どもの健全な育ちを支援できる	保育者として専門的な知識を持っている	保育者として専門的な知識を学習したが、不十分である	保育者としての専門的な知識がほぼ修得できていない
	専門的な（遊びや生活指導等）技能	保育者として専門的な技能を持ち、子どもの健全な育ちを支援できる	保育者として専門的な技能を持っている	保育者として専門的な技能を学習したが、不十分である	保育者としての専門的な技能がほぼ修得できていない
実践力と実務能力	遊びや製作、歌などの指導力	保育者として、状況に応じた遊びや製作、歌の指導等の保育実践ができる	保育者として遊びや製作、歌の指導等の保育実践ができる	遊びや製作、歌の指導等の保育実践に課題があり、課題解決への見通しがある	遊びや製作、歌の指導等の保育実践に課題があり、課題解決への見通しがない
	基本的な生活習慣の指導力	子どもの状況に応じて、集団生活を通じた基本的な生活習慣を指導することができる	集団生活を通して、子どもに基本的な生活習慣を指導することができる	子どもに基本的な生活習慣を指導するうえで課題があり、課題解決への見通しがある	子どもに基本的な生活習慣を指導するうえで課題があり、課題解決への見通しがない
人間性と協働性	協調性と協働性	学内行事等に積極的に参加し、現場で必要となる協調性と協働性を取得している	学内行事等に参加し、現場で必要となる協調性と協働性を取得している	学内行事等に参加しているものの、協調性あるいは協働性の取得に課題がある	学内行事等にほぼ参加しておらず、授業内のグループワークも参加していない
	豊かな教養と人間性	教育理念に基づき自己研鑽を怠らず、保育者として求められる倫理観を持っている	教育理念に基づき自己研鑽の意欲があり、保育者として求められる倫理観を持っている	自己研鑽の意欲あるいは保育者としての倫理観の習得のどちらかに不足がある	自己研鑽の必要性を理解しておらず、保育者としての倫理観も不足している